

平成29年度

下関短期大学付属高等学校

学校評価



学 校 評 価 報 告 書

【 目 次 】

- I 本校における学校評価
- II 調査方法及び集計結果
- III 評価・アンケート等まとめ
- IV 報 告

I 本校における学校評価

1、本校の概要

【創 立】故 河野タカ、大正15年(1926年)河野高等技芸院創立

【建学の精神】

「良妻賢母」

社会生活の基盤は、血縁の家であり、その家の中心は、妻であり母である。即ち、誇り高き真の日本女性が、家庭教育の中核であり、このような家庭集団こそが、現在及び将来に向かって限りない繁栄をもたらすものである。

学 科:普通科 くらしデザイン科(2年・3年)・調理科(1年)

生徒数:188名(平成29年5月1日現在) 183名(平成30年3月1日現在)

住 所:下関市桜山町1番1号

2、教育目標

【校 訓】

正「自覚・感謝・温雅」

【校訓の誓い】

私たちは 真理を求め正義を愛し 日々自覚を持って励みましよう

私たちは 天地万物の恵に感謝し 温雅な婦徳を身につけましよう

【努力点】

- ① 心身ともに生徒のよりどころとなる 新しい感覚による教育環境の樹立
- ② 心のふれあう 心をたがやす 個性ゆたかな親和感による生徒指導の深化
- ③ 学習意欲をかきたて 一人ひとりを活かす学習指導の創意工夫

【日本一の学校づくり】

本年度目標:日本一「笑顔のある」学校、安心安全な学校

3、学校評価の意義

学校評価は、学校運営の改善を目的とする。具体的には次のとおりである。

- ①学校教育目標、具体的方策の立案、自己点検、自己評価等を通して、一人ひとりの果たすべき役割が明確化され、組織的な教育活動を充実強化する。
- ②一人ひとりが持てる力を最大限に発揮し、能力開発をすることによって、様々な教育課題に一層効果的に取り組む。
- ③評価結果の公表を通して情報発信することによって、学校への信頼が高まるとともに、保護者や地域との連携を深める。

4、学校評価

①自己評価 平成30年2月

教頭(1)	教諭(16)	養護教諭(1)	計19名
-------	--------	---------	------

②生活アンケート 平成30年2月

ア、生 徒	1年(63)	2年(63)	3年(57)	計183名
-------	--------	--------	--------	-------

イ、保護者	1年(62)	2年(63)	3年(56)	計181名
-------	--------	--------	--------	-------

5、授業評価

生徒対象に7月・1月の2回実施

II 調査方法及び集計結果

調査方法は、授業評価以外の内部評価・外部評価ともにアンケートによる無記名個人回答調査で行った。アンケートの項目、回答数は次のとおりである。

学校自己評価とは、教職員が、学校の教育目標とそれに基づく教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表するとともに改善に生かす活動です。学校自己評価の趣旨や内容を理解して頂き、アンケートにご協力下さい。

A:良く取り組んでいる、B:だいたい取り組んでいる、C:あまり取り組めていない、D:まったく取り組めていない

		評価項目		A	B	C	D
学校運営	開かれた学校づくり	1	学校情報の発信、公開を充実させることができたか。	1	14	2	1
		2	保護者や中学校等への広報活動の取組を組織化し、教職員の意識を向上させることができたか。	1	7	9	1
		3	配布物や保護者会を利用し、生徒の情報を家庭と共有することができたか。	2	11	5	0
		4	開かれた学校づくりのための計画立案、実行が適切に行えたか。	0	8	8	2
	学校全般	5	学校目標を理解して教育活動を進めているか。	1	14	3	0
		6	教育活動全般について協働体制を確立することができたか。	0	14	3	1
		7	適切な職場風土が形成されていると感じることができたか。	0	8	10	0
		8	学校の問題は明確にされ、教師間で共有することができたか。	0	9	8	1
		9	年間の具体的な行動目標を適切に設定することができたか。	2	12	3	1
	生徒指導	10	基本的な生活習慣を確立する指導に取り組むことができたか。	1	13	4	0
		11	生徒が充実した学校生活をおくるよう指導できたか。	4	11	3	0
		12	通学の安全を確保する指導を進めることができたか。	3	10	5	0
		13	部活動や行事に積極的に取り組ませることができたか。	2	12	4	0
		14	HR活動や生徒会活動の活性化を図ることができたか。	2	9	7	0
		15	それぞれの立場で生徒理解を深める努力ができたか。	4	8	6	0
	進路指導	16	組織的な進路指導體制を確立させることができたか。	1	13	2	0
		17	生徒個々に応じた進路指導を充実することができたか。	1	8	7	0
		18	三者面談、ガイダンスなどを進路指導の有効な手だてとすることができたか。	1	10	5	0
		19	3年間を見通した進路指導を計画することができたか。	0	12	4	0
	教職員の 資質向上	20	授業改善のために研究授業や教科会を適切に実施することができたか。	1	11	5	0
		21	進路指導力向上のために研修会を開き、情報を共有することができたか。	0	6	11	0
		22	生徒指導力向上のため、方針の明確化と一貫した指導をすることができたか。	1	9	8	0
		23	組織としての指導力(進路指導・生徒指導・教科指導)の向上を図ることができたか。	0	10	8	0
	防災安全	24	校内の諸活動において事故防止の観点を念頭に置いて取り組むことができたか。	4	8	6	0
		25	防災教育・安全教育を適切に実施することができたか。	2	9	7	0
教育課程	自ら学び 考える力 の育成	26	生徒が自ら進んで取り組むよう工夫した授業ができたか。	1	10	6	0
		27	生徒を伸ばす効果のある学校づくりが進められたか。	0	8	9	0
		28	教育課程の編成は組織的に適切に行われたか。	0	16	1	0
	基礎基本 の定着	29	生徒の特性に応じた学習課題や学習形態を設定できたか。	1	10	6	0
		30	言語活動の充実を意識した授業を進めることができたか。	1	9	7	0
		31	自ら学習する習慣を形成し、その習慣化を図る指導ができたか。	0	8	9	0
	総合的な学 習の時間	32	総合的な学習の時間は適切に計画され実施されたか。	2	9	5	0
特色化	33	学校設定教科・科目は学校の個性や特色を伸ばす役割を果たしたか。	1	8	7	1	
その他	人権教育 道徳教育	34	人権教育は適切に計画され実施されたか。	0	14	4	0
		35	人間としての在り方生き方の自覚を促し豊かな心や道徳性を持った生徒を育てる取組がされたか。	1	10	7	0
		36	道徳教育を意識した授業を進めることができたか。	1	8	8	0
	教育相談	37	教育相談活動が適切に計画され実施されたか。	1	14	3	0

学校自己評価とは、教職員が、学校の教育目標とそれに基づく教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表するとともに改善に生かす活動です。学校自己評価の趣旨や内容を理解して頂き、アンケートにご協力下さい。

A:良く取り組んでいる、B:だいたい取り組んでいる、C:あまり取り組めていない、D:まったく取り組めていない

		評価項目		A	B	C	D	
学校運営	開かれた学校づくり	1	学校情報の発信、公開を充実させることができたか。	6%	78%	11%	6%	
		2	保護者や中学校等への広報活動の取組を組織化し、教職員の意識を向上させることができたか。	6%	39%	50%	6%	
		3	配布物や保護者会を利用し、生徒の情報を家庭と共有することができたか。	11%	61%	28%	0%	
		4	開かれた学校づくりのための計画立案、実行が適切に行えたか。	0%	44%	44%	11%	
	学校全般	5	学校目標を理解して教育活動を進めているか。	6%	78%	17%	0%	
		6	教育活動全般について協働体制を確立することができたか。	0%	78%	17%	6%	
		7	適切な職場風土が形成されていると感じることができたか。	0%	44%	56%	0%	
		8	学校の問題は明確にされ、教師間で共有することができたか。	0%	50%	44%	6%	
		9	年間の具体的な行動目標を適切に設定することができたか。	11%	67%	17%	6%	
	生徒指導	10	基本的な生活習慣を確立する指導に取り組むことができたか。	6%	72%	22%	0%	
		11	生徒が充実した学校生活をおくるよう指導できたか。	22%	61%	17%	0%	
		12	通学の安全を確保する指導を進めることができたか。	17%	56%	28%	0%	
		13	部活動や行事に積極的に取り組ませることができたか。	11%	67%	22%	0%	
		14	HR活動や生徒会活動の活性化を図ることができたか。	11%	50%	39%	0%	
		15	それぞれの立場で生徒理解を深める努力ができたか。	22%	44%	33%	0%	
	進路指導	16	組織的な進路指導體制を確立させることができたか。	6%	81%	13%	0%	
		17	生徒個々に応じた進路指導を充実することができたか。	6%	50%	44%	0%	
		18	三者面談、ガイダンスなどを進路指導の有効な手だてとすることができたか。	6%	63%	31%	0%	
		19	3年間を見通した進路指導を計画することができたか。	0%	75%	25%	0%	
	教職員の 資質向上	20	授業改善のために研究授業や教科会を適切に実施することができたか。	6%	65%	29%	0%	
		21	進路指導力向上のために研修会を開き、情報を共有することができたか。	0%	35%	65%	0%	
		22	生徒指導力向上のため、方針の明確化と一貫した指導をすることができたか。	6%	50%	44%	0%	
		23	組織としての指導力(進路指導・生徒指導・教科指導)の向上を図ることができたか。	0%	56%	44%	0%	
	防災安全	24	校内の諸活動において事故防止の観点を念頭に置いて取り組むことができたか。	22%	44%	33%	0%	
		25	防災教育・安全教育を適切に実施することができたか。	11%	50%	39%	0%	
教育課程	自ら学び 考える力 の育成	26	生徒が自ら進んで取り組むよう工夫した授業ができたか。	6%	59%	35%	0%	
		27	生徒を伸ばす効果のある学校づくりが進められたか。	0%	47%	53%	0%	
		28	教育課程の編成は組織的に適切に行われたか。	0%	94%	6%	0%	
	基礎基本 の定着	29	生徒の特性に応じた学習課題や学習形態を設定できたか。	6%	59%	35%	0%	
		30	言語活動の充実を意識した授業を進めることができたか。	6%	53%	41%	0%	
		31	自ら学習する習慣を形成し、その習慣化を図る指導ができたか。	0%	47%	53%	0%	
	総合的な学 習の時間	32	総合的な学習の時間は適切に計画され実施されたか。	13%	50%	28%	0%	
	特色化	33	学校設定教科・科目は学校の個性や特色を伸ばす役割を果たしたか。	6%	44%	39%	6%	
	その他	人権教育 道徳教育	34	人権教育は適切に計画され実施されたか。	0%	78%	22%	0%
			35	人間としての在り方生き方の自覚を促し豊かな心や道徳性を持った生徒を育てる取組がされたか。	6%	56%	39%	0%
36			道徳教育を意識した授業を進めることができたか。	6%	44%	44%	0%	
教育相談		37	教育相談活動が適切に計画され実施されたか。	6%	78%	17%	0%	

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全校生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	44	72	23	6	2
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	52	65	19	6	5
3	学校生活は楽しい。	65	57	13	7	5
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	41	65	21	7	13
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	39	57	30	11	10
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	40	77	18	4	8
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	39	57	27	14	10
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	52	53	16	3	13
9	進路情報が適切に提供されている。	47	55	21	2	13
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	50	61	20	5	10
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	55	59	13	4	16
12	部・同好会活動が活発な学校である。	56	57	17	7	9
13	楽しく学校行事に参加できている。	60	52	21	4	9
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	55	58	18	5	9
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	40	50	28	15	14
16	清掃活動がしっかり行われている。	58	57	19	7	6
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	47	60	22	10	7
※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。 生徒指導をきちんとしてほしい。 自動販売機を増やしてほしい。						

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全校生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	30%	49%	16%	4%	1%
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	35%	44%	13%	4%	3%
3	生徒は明るく楽しい学校生活を送っている。	44%	39%	9%	5%	3%
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	28%	44%	14%	5%	9%
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	27%	39%	20%	7%	7%
6	生活全般にわたり生徒指導は行き届いている。	27%	52%	12%	3%	5%
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	27%	39%	18%	10%	7%
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	35%	36%	11%	2%	9%
9	進路情報が適切に提供されている。	32%	37%	14%	1%	9%
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	34%	41%	14%	3%	7%
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	37%	40%	9%	3%	11%
12	部・同好会活動が活発な学校である。	38%	39%	12%	5%	6%
13	適切な学校行事を実施している。	41%	35%	14%	3%	6%
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	37%	39%	12%	3%	6%
15	育友会組織は有効に運営されている。	27%	34%	19%	10%	10%
16	清掃活動がしっかり行われている。	39%	39%	13%	5%	4%
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	32%	41%	15%	7%	5%

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(1年生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	23	30	2	1	0
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	26	26	1	2	1
3	学校生活は楽しい。	24	27	3	1	1
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	21	27	4	0	4
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	19	25	7	1	4
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	20	30	3	0	3
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	20	27	8	1	0
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	20	28	2	0	6
9	進路情報が適切に提供されている。	20	26	6	0	4
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	23	23	5	2	3
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	27	24	1	0	4
12	部・同好会活動が活発な学校である。	24	26	3	0	3
13	楽しく学校行事に参加できている。	24	26	3	0	3
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	26	25	2	0	3
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	18	26	7	3	2
16	清掃活動がしっかり行われている。	26	24	3	2	1
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	21	29	4	0	2

※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(2年生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	9	27	16	4	2
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	13	25	14	3	3
3	学校生活は楽しい。	22	18	10	6	2
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	7	24	14	6	7
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	12	20	13	8	5
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	9	32	11	2	4
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	11	13	16	10	8
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	12	15	12	2	7
9	進路情報が適切に提供されている。	11	18	10	2	8
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	12	24	11	3	7
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	13	22	10	3	10
12	部・同好会活動が活発な学校である。	14	22	10	6	6
13	楽しく学校行事に参加できている。	17	19	13	3	5
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	12	22	12	5	5
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	10	13	15	10	10
16	清掃活動がしっかり行われている。	22	19	8	5	4
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	13	17	15	8	4
※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。 生徒指導をきちんとしてほしい。 自動販売機を増やしてほしい。						

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(3年生徒)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	12	15	5	1	0
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	13	14	4	1	1
3	学校生活は楽しい。	19	12	0	0	2
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	13	14	3	1	2
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	8	12	10	2	1
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	11	15	4	2	1
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	8	17	3	3	2
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	20	10	2	1	0
9	進路情報が適切に提供されている。	16	11	5	0	1
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	15	14	4	0	0
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	15	13	2	1	2
12	部・同好会活動が活発な学校である。	18	9	4	1	0
13	楽しく学校行事に参加できている。	19	7	5	1	1
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	17	11	4	0	1
15	保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。	12	11	6	2	2
16	清掃活動がしっかり行われている。	10	14	8	0	1
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	13	14	3	2	1
※ 本校をより良い学校にするために、意見や提案があれば記入して下さい。						

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全保護者)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	33	87	17	4	7
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	38	85	14	2	10
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	68	55	12	4	11
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	43	72	16	2	14
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	33	73	28	7	9
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	31	84	22	2	11
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	36	71	21	7	10
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	36	81	18	4	10
9	学校から進路情報は届いている。	30	70	28	11	9
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	32	77	20	6	12
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	39	70	17	2	17
12	部・同好会活動が活発な学校である。	41	71	16	2	17
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	39	79	11	4	16
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	39	67	20	8	12
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	32	75	18	2	19
16	清掃活動が行き届いた学校である。	45	74	14	4	7
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	41	73	20	6	8

※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。
 SNS等での問題が多い時代だが、事件や問題が起きないように注意して欲しい。
 トラブルがあった生徒に対してとても熱心に向き合って下さり、先生方に感謝している。
 ひとりひとりの生徒のことを理解していただき感謝している。
 バスが遅れた場合は遅刻にしないでほしい。
 トイレ掃除を一人に押しつけず、汚した人がきれいにするという基本を教えるべき。
 1クラスだけ離れた場所にあることに疑問を感じる。
 教室の放送が入らない。教室が寒い。
 極端に制服を着崩して着用している生徒はいない。
 学校に不要な物を持ってきている生徒がいる。
 先生はフレンドリーが良いが厳しさが足りない。
 もう少し生徒の声に耳を傾けるべき。保護者の意見を聞いて改善すべき。

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(全保護者)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	22%	59%	11%	3%	5%
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	26%	57%	9%	1%	7%
3	生徒は明るく楽しい学校生活を送っている。	46%	37%	8%	3%	7%
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	29%	49%	11%	1%	9%
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	22%	49%	19%	5%	6%
6	生活全般にわたり生徒指導は行き届いている。	21%	57%	15%	1%	7%
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	24%	48%	14%	5%	7%
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	24%	54%	12%	3%	7%
9	進路情報が適切に提供されている。	20%	47%	19%	7%	6%
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	21%	52%	13%	4%	8%
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれる。)	26%	47%	11%	1%	11%
12	部・同好会活動が活発な学校である。	28%	48%	11%	1%	11%
13	適切な学校行事を実施している。	26%	53%	7%	3%	11%
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	26%	45%	14%	5%	8%
15	育友会組織は有効に運営されている。	22%	51%	12%	1%	13%
16	清掃活動がしっかり行われている。	30%	50%	9%	3%	5%
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	28%	49%	14%	4%	5%

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(1年保護者)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	13	37	2	1	2
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	16	33	4	0	3
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	26	25	1	1	4
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	18	29	3	0	6
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	14	24	11	5	3
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	14	30	10	1	2
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	14	26	8	2	2
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	15	28	8	1	4
9	学校から進路情報は届いている。	10	26	10	4	5
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	10	31	5	2	6
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	15	25	9	0	5
12	部・同好会活動が活発な学校である。	16	28	5	0	6
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	18	27	4	1	6
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	14	27	6	2	5
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	10	27	7	0	10
16	清掃活動が行き届いた学校である。	14	30	2	1	4
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	17	30	4	1	3

※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。
 SNS等での問題が多い時代だが、事件や問題が起きないように注意して欲しい。
 トラブルがあった生徒に対してとても熱心に向き合って下さり、先生方に感謝している。
 ひとりひとりの生徒のことを理解していただき感謝している。

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(2年保護者)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	7	32	13	2	5
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	8	34	8	2	7
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	23	20	8	1	7
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	13	25	10	1	8
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	12	28	12	1	6
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	7	34	9	0	9
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	8	29	10	4	8
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	8	35	8	2	6
9	学校から進路情報は届いている。	7	27	17	5	3
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	8	29	13	3	6
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	11	28	8	1	9
12	部・同好会活動が活発な学校である。	10	27	10	1	10
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	6	36	7	1	9
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	9	26	12	6	6
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	6	32	10	2	8
16	清掃活動が行き届いた学校である。	17	28	8	3	3
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	12	25	14	4	4

※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。
 バスが遅れた場合は遅刻にしないほしい。
 トイレ掃除を一人に押しつけず、汚した人がきれいにするという基本を教えるべき。
 1クラスだけ離れた場所にあることに疑問を感じる。
 教室の放送が入らない。教室が寒い。
 極端に制服を着崩して着用している生徒はいない。
 学校に不要な物を持ってきている生徒がいる。
 先生はフレンドリーが良いが厳しさが足りない。
 もう少し生徒の声に耳を傾けるべき。
 保護者の意見を聞いて改善すべき。

平成29年度学校評価(学校生活アンケート) 集計表(3年保護者)

《 評価 A:十分(良い) B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分 E:どちらともいえない 》

具 体 的 評 価 内 容		回答欄				
		A	B	C	D	E
1 高校生活全般						
1	本校の教育環境は充実している。	13	18	2	1	0
2	本校の教職員は、教育に熱心である。	14	18	2	0	0
3	下関短期大学付属高等学校に入学させて良かった。	19	10	3	2	0
4	本校は、地域に根ざした教育活動を行っている。	12	18	3	1	0
2 生徒指導						
5	生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。	7	21	5	1	0
6	本校では、生活全般にわたる指導を行っている。	10	20	3	1	0
7	本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。	14	16	3	1	0
3 進路指導						
8	各学年に応じた進路指導が行われている。	13	18	2	1	0
9	学校から進路情報は届いている。	13	17	1	2	1
10	進路目標達成に向けた指導を行っている。	14	17	2	1	0
4 行事・特別活動						
11	部・同好会顧問として良く指導している。(指導してくれている。)	13	17	0	1	3
12	部・同好会活動が活発な学校である。	15	16	1	1	1
13	学校行事は生徒育成に役立っている。	15	16	0	2	1
5 その他						
14	本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。	16	14	2	0	1
15	育友会(PTA)活動は有効にそして活発に行われている。	16	16	1	0	1
16	清掃活動が行き届いた学校である。	14	16	4	0	0
17	本校の教職員は、生徒の健康管理に気を配っている。	12	18	2	1	1
※ 本校をより良い学校にするために、ご意見やご提案があればご記入下さい。						

平成29年度 第1回 授業評価 集計表

質問項目

1	説明はていねいで聞き取りやすかった。
2	指示は分かりやすく、板書は見やすかった。
3	授業の進度は適切である。
4	生徒の理解度を確認しながら授業を行っている。
5	先生は熱意を持って教えてくれた。
6	クラス全体で真剣に授業に取り組む雰囲気がある
7	授業内容がよく理解できた。
8	授業に積極的に参加した。
9	授業内容は興味深いものだった。
10	授業を通して新しい知識・技能・考え方が身に付いた。

4 あてはまる 3 だいたいあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない

全教科合計

《実数》

	4	3	2	1
1	1271	784	65	13
2	1223	788	79	18
3	1226	771	66	15
4	1200	783	76	16
5	1291	718	54	12
6	1141	838	87	17
7	1026	876	128	25
8	1132	823	75	11
9	1015	898	130	23
10	1086	894	106	19

《割合》

	4	3	2	1
1	59.6%	36.8%	3.0%	0.6%
2	58.0%	37.4%	3.7%	0.9%
3	59.0%	37.1%	3.2%	0.7%
4	57.8%	37.7%	3.7%	0.8%
5	62.2%	34.6%	2.6%	0.6%
6	54.8%	40.2%	4.2%	0.8%
7	49.9%	42.6%	6.2%	1.2%
8	55.5%	40.3%	3.7%	0.5%
9	49.1%	43.5%	6.3%	1.1%
10	51.6%	42.5%	5.0%	0.9%

平成29年度 第1回 授業評価考察

教科	考察
国語	1～5の授業の進め方や、教員の資質に関わる質問項目は概ね高評価を得ているが、7や9の質問項目で低評価にした生徒のパーセンテージが若干高く、授業内容をより興味深いものにする必要性を感じる。授業内容にもっと関心が持てれば自ずと授業に積極的に参加する姿勢も養われ、理解力の向上、並びにクラス全体に授業真剣に取り組む雰囲気も育むことも可能かと考える。
地理歴史	今回のアンケートで最も気になる項目は質問7での「授業内容は十分理解できた」について若干パーセンテージが低かったことである。この数字がやはり定期考査の成績に直結していると思われ、従って、生徒にいかん授業内での理解を深めるために資料活用や説明の仕方、進度など工夫が必要である。
公民	1学期のアンケート結果は概ね良好であった。テーマ内容が特に生徒達が興味がある内容が多かったのもあると思う。従って2学期以降が重要になる。やる気を引き出し、生徒にとって実のある授業展開にしていきたい。
数学	数学Aではグループ学習に積極的に取り組んでいる。9割以上の生徒がこの学習形態に対して肯定的であった。少数意見ではあるが、人間関係が学習に影響する、わからない者同士がグループになると意味がないといった意見があったので、教員による声かけ等でサポートしていきたい。生徒の多くは数学を解ける喜びを感じているが、実力テスト等では結果を出すことができていないのが現状である。数学的知識技術の定着が不十分であるので、色々な場で活用実践できる力を身に付けられるような工夫を考えていきたい。
理科	全学年を通じて、「授業内容がよく理解できた」「授業内容が興味深い」という問いに対しての評価が低く、理科に対する興味関心の低さが伺える。・導入の工夫や教材提示方法の工夫が必要である。また、日常生活に関連付けた説明や問いかけ等もできるだけ準備していきたい。・基本的な学習内容の説明をしっかりと時間をとって分かりやすく行っていきたい。特に実物や画像の提示や実験など視覚的、体験的な場面を増やしていきたい。・授業のねらいの明示と毎時間の振り返りを実施し、メタ認知を促すことで主体的な取り組みにつなげていきたい。
保健体育	教員の授業力に関する項目については、概ね良好といえる結果であったが、9、10の項目については、あてはまるを回答した割合が僅かではあるが少なかった。この背景として、体育では、基礎的な技術・体力の向上のため、補強運動の徹底や基礎的な練習を多く取り入れていることにより、生徒の興味・関心がやや低くなったことが考えられる。これらのバランスを課題とし、今後に生かしていきたい。
芸術	芸術科目は美術、音楽の選択により生徒の多くは興味を持つ方の教科を選択をしているはずであるが、授業内容の大半は実技を伴うもので、苦手な実技となると意欲や関心が持たなくなり、消極的になってしまう。わかる、楽しい授業を目指し、創意工夫をしていきたい。
外国語	苦手意識や基礎が欠けているため、積極的に取り組めない生徒が多い。しかし、興味を持つ部分や基礎を分かりやすく教えると楽しいと反応を示す生徒もいる。また、教材の内容に興味を持っていないという声もあり、教科書の見直しも必要な部分があると感じた。生徒に合った教材や問題を設定することを改めて感じることができた。今後活かしていきたい。
情報	実技の授業では毎回10分間のタイピング練習を行っている。記録カードを作り、自分の文字数の伸びを実感できるようにしている。全生徒が真面目に取り組む、確実に文字数を増やしているの、生徒自身もやりがいを感じているようである。2学期以降も同様に取り組んでいきたい。動画の編集やプログラミングに興味を持っている生徒もいるので、限られた設備で学べるのは限られた範囲となってしまうが、基礎的な知識や技術にふれられるよう教材研究を行いたい。
家庭	実技の授業では、個人差があるので班編成を工夫したり、いろいろな生徒とコミュニケーションがとれるように配慮していかなければならない。また、食品衛生や公衆衛生などの用語が難しい授業では、生徒も意欲を持って学習に取り組んでいる様子である。そのため、教員側の1から6の項目も、自分自身に関する項目の7から10の自己評価も4や3が多く、全体的に評価が高かったと考えられる。2学期はさらに、生徒の意欲や関心を引き出せるよう、教材の工夫をしていけたらと思う。
総合的な学習の時間	クラスによって特徴があるが、特に実技による取り組みに関心が高いように感じる。知らない事を知っていくことに喜びを感じている生徒が多い。自ら課題を意識することや設定することにこれからの課題を感じる。
教養 キャリアデザインⅠ群	それぞれのコースの特徴を活かした授業内容になっている。保育に関しては進路目標とも合致しており良い印象を受けている生徒が多いたように感じる。それぞれの目標に合った取り組みがなされている為、比較的充実している生徒のコメントが多くあった。
教養 キャリアデザインⅢ群	日本文化に関する理解が深くなった。という声や座学よりも実習の方が積極的に取り組める傾向があるため比較的生徒の評価が高い。興味がない生徒をどのように指導していくかが今後の課題である。
教養 キャリアデザイン以外	幅広い分野で取り組めており、生徒の声は様々である。興味・関心のある生徒は充実した感触はあるものの、興味・関心のない生徒はきつと感じている生徒もいる。生徒の満足度を上げるために教員同士の工夫や協力が必要と感じている。

平成29年度 第2回 授業評価 集計表

質問項目

1	説明はていねいで聞き取りやすかった。
2	指示は分かりやすく、板書は見やすかった。
3	授業の進度は適切である。
4	生徒の理解度を確認しながら授業を行っている。
5	先生は熱意を持って教えてくれた。
6	クラス全体で真剣に授業に取り組む雰囲気がある
7	授業内容がよく理解できた。
8	授業に積極的に参加した。
9	授業内容は興味深いものだった。
10	授業を通して新しい知識・技能・考え方が身に付いた。

4 あてはまる 3 だいたいあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない

全教科合計

《実数》

	4	3	2	1
1	1249	712	45	5
2	1210	708	65	6
3	1216	734	45	5
4	1211	726	61	5
5	1281	655	42	8
6	1064	826	90	7
7	990	911	100	7
8	1073	793	76	7
9	1012	874	100	11
10	1042	859	75	5

《割合》

	4	3	2	1
1	62.1%	35.4%	2.2%	0.2%
2	60.8%	35.6%	3.3%	0.3%
3	60.8%	36.7%	2.3%	0.3%
4	60.5%	36.2%	3.0%	0.2%
5	64.5%	33.0%	2.1%	0.4%
6	53.5%	41.6%	4.5%	0.4%
7	49.3%	45.4%	5.0%	0.3%
8	55.1%	40.7%	3.9%	0.4%
9	50.7%	43.8%	5.0%	0.6%
10	52.6%	43.4%	3.8%	0.3%

平成29年度 第2回 授業評価考察

教科	考察
国語	全体的に高評価であることには違いないが、5の質問項目において教員の熱意を感じないと回答した生徒がいたこと、また、9の質問項目において、授業内容を興味深いと受け止めなかった生徒がいたことは反省すべき点である。目新しい散文学や教材が増えつつあることから、より教材研究を重ね、興味深く惹き付ける授業展開を目指すことは必要不可欠かと考える。
地理歴史	前回の結果と比べると全体的に評価は低下した。その原因を探っていくと、もちろん科目にはよるが、単調な授業展開になっていないか、反省するところも多い。歴史を教えていく上で危惧するところは一斉授業である。教えることばかりに気を取られて生徒を置き去りにしてしまう。その工夫改善が毎時間大事になると思うので実行していきたい。
公民	1回目アンケートと比べてもさほど大きな変化はない。しかし、質問6にある「クラス全体に真剣に取り組む姿勢がある」について、「あまり当てはまらない」が増加した。これは一年間を過ごすことによって生じた個々の学習意欲のバラツキと推測される。やはり、クラスの雰囲気や崩れると間違いなく学力にも影響を及ぼす。そこまで考えながら1年間の学習計画を準備しなければならない。
数学	数学Aでは毎時間30分程度のグループ学習に取り組んだ。教えあいながら問題に取り組む姿が毎時間見られ、「できる」という感触をつかんだ生徒も多かった。ただ、3学期ともなると飽きているようにも感じたので、工夫を考える必要性を感じた。単元ごとに取り組んだ、まとめのプリントも1年間で4枚作成してきたが、初めはただノートから重要点を転記するだけであったが、徐々に自分なりにポイントやアドバイスを書き込んだり、色ペンや線を引くなどの独自の工夫が見られるようになった。回数を重ねるにつれ、学習のふり返りがしやすいまとめのプリントを作成する生徒が増えた。今後も生徒が理解と学習の積み重ねを感じることができるような工夫を考えていきたい。
理科	1学年の全項目の平均が1回目3.58、2回目3.74であった。同様に、2学年の平均が1回目3.12、2回目3.48と両学年とも向上している。このことは、指導力や指導方法の改善というより、生徒とのよりよい人間関係の構築や信頼関係の深まりが原因であろうと考えられる。来年度もまずは良好な人間関係作り努めたい。
保健体育	前年度と比較して、多くの項目で4(あてはまる)が50%を超えるなど高評価で、授業内容に関する感想も満足度の高いものが多かった。一方、施設・用具に関する要望は毎年出てきており、ハードルや卓球のラケットなどの消耗品・備品は定期的買い替えや修繕が必要である。
芸術	概ね満足の行く結果となったが、一部の生徒が教科書やノートを持って来なかったり、授業中に居眠りをする等集中力に欠ける場面があった。緊張感を持った授業、分かり易い授業の工夫をする様、心掛けていきたい。
外国語	4や3といった評価の高い項目等あるが、学力につながっていないのが現状である。関心や意欲の高さを学力につなげるように工夫していくことが大事だと感じる。その為の情報を共有しながらこれから取り組んでいきたい。
情報	実技に関しては1年間記録を取り続けたタイピングについて、確実に速くなっていることが実感できたようである。評価に1と2がついていない一つの要因であると思う。スマートフォンは扱えるがパソコンを使うことは苦手であるという大学生が増えているという、高校生のうちにパソコンでできることの可能性を感じて積極的に情報化社会に加わっていけるような授業展開を来年度も検討したい。
家庭	全体的に高評価である。しかし、7以下の質問項目に関して、自己評価が低く、授業の内容に関して理解が難しかったり、知識や技術が身についたという実感があまりない生徒がいるように伺える。生徒に自信をつけ、「できた」「分かった」という自己肯定感が高まるような指導を工夫していかなければならないと感じた。生徒の力が身につく、自信につながるよう、体験的な授業、発表する場を増やしていかなければならないと感じた。
総合的な学習の時間	全体的に高評価であるが、総数に対して2や1の回答率が多いように感じる。ただ学年やクラスによってやるものが違うので、対策が難しい。次期学習指導要領から「総合的な探求の時間」に名称が変わるため、教員側の意識も向上させる必要がある。各学年の実情にあった授業をしていきたい。
教養 キャリアデザインⅠ群	興味を持った科目な為、生徒の評価は高いものも多く見られる。少しずつ難易度が上がっていくため、ついていくのに必死な生徒も出てきている。個別の指導の為、頑張ろうと思える生徒もいるようである。
教養 キャリアデザインⅢ群	多くの生徒は良い感触を得ているようである。特に他学年との合同は緊張感を高めるや刺激し合うことができるなど良い点も挙げられる。生徒と指導員の先生との関係や授業効率を上げるなど様々な課題はあるが、生徒の評価は高い。
教養 キャリアデザイン以外	幅広い分野であるが具体的な技術や知識を得ることに対して良い感触を得ている生徒が多くいるように見られる。中には人数の少なさから生徒の意欲関心を高めることに課題を感じることもあるが、真面目に取り組んでいるという声もある。

1、自己評価結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
教員	<p>11、生徒が充実した学校生活をおくれるように指導できたか</p> <p>15、それぞれの立場で生徒理解を深める努力ができたか</p> <p>24、校内の諸活動において事故防止の観点を念頭に置いて取り組むことができたか</p>	<p>4、開かれた学校づくりのための計画立案、実行が適切に行えたか</p> <p>7、適切な職場風土が形成されていると感じることができたか</p> <p>21、進路指導力向上のために研修会を開き、情報を共有することができたか</p>	<p>学校評価を活用して、教育活動や学校運営の改善に今以上組織的に取り組んでいくためには、教職員の協力・協働により現状分析を行い、確かな現状認識と、近い将来への見通しを学校内で共有することが重要になると思われる。そのためにも教職員間のコミュニケーション、議論・ディスカッションの重要性を理解して、「チーム下短」として取り組んでいきたい。</p>

2、生活アンケート結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
生徒	<p>3、生徒は明るく楽しい学校生活を送っている。</p> <p>13、適切な学校行事を実施している。</p> <p>14、本校では、学校生活に必要な情報を家庭や生徒に提供している。</p>	<p>5、生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。</p> <p>7、本校教職員は、生徒を良く理解し、対応している。</p> <p>15、保護者がかかわる育友会(PTA)行事について知っている。</p>	<p>良い評価も厳しい評価も昨年と変わりが無いが、厳しい評価の%が若干ではあるが減少している。生徒の学校に対する要望も意見として多く出されており検討する必要がある。授業の中で教科指導をするだけでなく、授業運営や生活指導も必要である。生徒を理解し指導しているつもりでも、生徒に通じていなければ意味がない。</p>
保護者	<p>3、生徒は明るく楽しい学校生活を送っている</p> <p>13、適切な学校行事を実施している</p> <p>16、清掃活動がしっかり行われている</p>	<p>5、生徒は、校則を良く守り、規律正しく生活している。</p> <p>7、本校教職員は生徒をよく理解し対応している</p> <p>15、育友会組織は有効に運営されている</p>	<p>保護者からの意見を真摯に受け止め改善し、保護者との連携を密にし、協力していただける、満足度の高い学校、安心安全な学校にしていくことが大切である。</p>
その他	<p>○いじめアンケート:いじめアンケートを実施したが、いじめに繋がるような事案は発生していない。ただし、ネット上でのトラブルや悪ふざけが過ぎた行動や言動が見受けられた事もあった。※いじめに発展する場合があるために、早期に対応した。</p> <p>○体罰アンケート:体罰アンケートを実施したが、体罰は発生していない。</p>		

3、授業評価結果のまとめ

	良い評価	厳しい評価	気づき等
一回目	<p>1、説明はていねいで聞き取りやすかった</p> <p>3、授業の進度は適切である</p> <p>5、先生は熱意を持って教えてくれた</p>	<p>7、授業内容がよく理解できた</p> <p>9、授業内容は興味深いものだった</p> <p>10、授業をとおして新しい知識・技能・考え方が身に付いた</p>	<p>1回目より2回目のほうが、「あてはまる・だいたいあてはまる」の評価%が向上しているのは、1回目を受けて教員が授業改善を行ったたまものと思われる。先生は熱意を持って教えてくれたや説明は丁寧で聞き取りやすかったが高評価であるにもかかわらず、授業内容が良く理解できたや授業内容は興味深いものだったの評価が低いのは、教員の一生懸命さは通じているが、生徒にあった工夫された授業がなされていないのではないかと。多様な生徒が混在する本校で、板書の工夫等によって、理解させ伸ばすための授業を考える必要がある。また、教科書を教えるのではなく、教科書で教える工夫等が必要であろう。これからは、生徒とのよりよい人間関係の構築や信頼関係の深化を大切にしていくなければならない。</p>
二回目	<p>2、指示はわかりやすく板書は見やすかった</p> <p>3、授業の進度は適切である</p> <p>5、先生は熱意を持って教えてくれた。</p>	<p>7、授業内容がよく理解できた。</p> <p>9、授業内容は興味深いものだった。</p>	<p>2回目より3回目のほうが、「あてはまる・だいたいあてはまる」の評価%が向上しているのは、2回目を受けて教員が授業改善を行ったたまものと思われる。先生は熱意を持って教えてくれたや説明は丁寧で聞き取りやすかったが高評価であるにもかかわらず、授業内容が良く理解できたや授業内容は興味深いものだったの評価が低いのは、教員の一生懸命さは通じているが、生徒にあった工夫された授業がなされていないのではないかと。多様な生徒が混在する本校で、板書の工夫等によって、理解させ伸ばすための授業を考える必要がある。また、教科書を教えるのではなく、教科書で教える工夫等が必要であろう。これからは、生徒とのよりよい人間関係の構築や信頼関係の深化を大切にしていくなければならない。</p>

学校関係者評価委員報告書

評価者：篠田文夫

評価領域	平成29年度 学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活	<p>「笑顔のある学校づくり」を目指し、三つの努力点を掲げて、確かな実践が積み重ねられています。「学校生活アンケート」を見ると、生徒も保護者も高い割合で、充実した教育環境の下で教職員の熱心な指導を受けて、“明るく楽しい学校生活を送っている”と、着実な努力の結果を評価しています。</p> <p>今後は、中学校や保護者に向けて、具体的な生徒の姿を通しての広報活動を工夫していくこと、共通の課題を認識し合って協働していくために、自由に思いや考えを交換し合う場や方法を工夫していくことなどが大切だと思います。</p>	B
教科指導	<p>「授業評価」や「授業評価考察」を見て、教科指導に対しての教師の熱心な取り組み、授業改善への意欲が十分にうかがえます。</p> <p>生徒にとって学校生活の中心は、やはり教科の学習です。学校生活が楽しく、心から笑顔が溢れるのも、教科学習において“解った、できた”と感じるときであろうと思います。学習を興味深いものとし、積極的に取り組ませていくためにも、どんな活動をさせるかを授業改善の視点にしていってください。授業は、生徒が互いに啓発し合い、高め合っていくものでもあると思います。</p>	A
生徒指導	<p>熱心に生徒指導に取り組んでおられる様子がいろいろな場面で感じ取れます。基本的な生活習慣をしっかりと身につけさせるという伝統が、確かに継承されていると心強く思います。</p> <p>教育においては信頼関係が最も大切ですが、取り分け生徒指導は、教師との信頼・親和の基盤があって初めて成り立つ営みです。同じ目標に向かって行動を共にすることを通して、人間関係は調整され、信頼は深められて行くのだと思います。話し言葉による言語環境も、信頼関係を築く上で大切な要素です。</p>	A
進路指導	<p>「生徒個々に応じた指導を計画的に実践していくために指導力を高めていきたい、情報を共有して組織としての指導力を高めていきたい。」と自己評価されていることに、重要性の認識と強い意欲が感じられます。</p> <p>進路指導は、生徒の「なりたい」という願望を「なるう」という決断・意志に高めていく過程において、必要な情報を提供しながら、励まし、見守っていく指導であると思います。そのことが、自分を見つめさせる教育と言われる所以であると思います。力を継ぎ合わせ、組織としての一層の向上を期待します。</p>	B
特別活動	<p>特別活動は、学校生活の充実のために大きな役割を果たすものです。生徒の「学校生活アンケート」の結果を見ても、生き生きとして楽しい、笑顔のある学校生活を送っている様子がうかがえます。</p> <p>これからも一層、生徒が主役となって、計画し、実践し、評価していく活動・行事を充実させてください。人は、活動経験を通して学び、成長して行きます。「学ぶ」とは、経験によって行動様式が変化していくことだと思っています。</p>	A
その他	<p>学校行事における保護者の積極的な協力には、胸を打たれています。学校の施設・設備も整い、伝統にもなっている清掃活動もよくなされています。</p> <p>「学校生活アンケート」に寄せられた保護者からの意見・要望については、学校としての考えを適切な方法によって届けることが必要だと考えます。理解と信頼は、互いに知り合うことによって、より深められます。その意味からも、学校と家庭とが意思疎通を図る方法を検討していくことも必要です。</p> <p>「ものを愛するには、ものを知らなければならない。」（西田幾多郎）</p>	B

評価 十分：A おおむね十分：B やや不十分：C 不十分：D

学校関係者評価委員 氏名(古藤 俊彦)

評価領域	平成29年度学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活	<p>高校生活全般においては全校生徒、保護者共に、十分から、おおむね十分が8割～9割近く評価しており、教育環境、教員の教育の熱心さ、生徒の学校生活を楽しく、はつらつと送っている様子が大きく評価出来る。</p> <p>昨年に続き、その半面、教職員の評価はAがなし、B,Cにかたまっている。これはまだまだ教職員方の潜在的な可能性があることを感じる。教職員の方の成長が更に生徒さんの満足に繋がり、保護者の満足、評価につながることを期待します。”</p>	A
教科指導	<p>教科指導にあたって各教科共に工夫をされている。</p> <p>面白いから興味をもたせ、理解させる。</p> <p>やる気を引き出させる授業を心掛けられているのを感じます。</p> <p>更に先生方の潜在的な可能性を感じます。未来の成長に向けて</p> <p>おおむね95%が あてはまる、だいたいあてはまるの評価をえておりかなりの評価ができる。</p>	A
生徒指導	<p>教職員の方の、校則を基本に規律性の徹底した対応が評価される。</p> <p>社会に出てゆく準備期間である生徒にとって、とても大切なことである。</p> <p>また保護者の方々も評価している。</p> <p>河野タカ先生からの礼法を通じての人間教育が行われていることが引き継がれている。</p> <p>一方少数派の生徒さんとの関わりがとても大切ではないかを感じる。</p>	A
進路指導	<p>学年に応じた段階的な進路指導が行われ、教職員、生徒、保護者も評価されている点は3方の評価、満足が感じられる。</p> <p>特に進路指導は、コーチング能力が必要であると感じる。</p> <p>傾聴から始まり、本人が進みたい方向を引出し適切なアドバイスが求められる。</p> <p>今後とも、更なる生徒さんがビジョンを持てる進路指導を期待しております。</p>	A
特別活動	<p>部・同好会活動など活発で生徒、保護者ともA,Bが8割近くで評価が高い</p> <p>特別活動が積極的、前向きなところは、チームワーク、協調性を育みコミュニケーション能力を高める、またアクティブ・ラーニングを実践する大切な機会です。大変評価出来ると思います。</p>	A
その他	<p>理念から湧き出たビジョン、目標を定量で評価するご意見が出ましたが、とても良いことだと感じました。また来期の調理教室の設備の拡充、環境整備に始まり、来期のグアムの修学旅行の戦略的施策の計画と実践に大いに期待しております。教職員の自己評価アンケートの学校全般・教職員の資質の向上・特色化に大きな潜在的な可能性を感じております。これは先生方が、成長したいという潜在意識のあらわれであると思います。目まぐるしく変わる外部環境に対応する人財教育に対する姿勢には大きく期待しております。</p> <p>例えば、教科は違えども校内で先生方の授業を数人で参観してよい所を評価し合う先生のチーム学習、先生方が更に楽しくなれば、生徒さんもそれを感じ、相乗効果が生まれるのではないのでしょうか。次年度も更なる発展と飛躍を楽しみにしております。</p>	A
評価	十分:A 、 おおむね十分:B 、 やや不十分:C 、 不十分:D	

学校関係者評価委員 氏名(大田 啓子)

評価領域	平成29年度学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活	<p>約8割の生徒が高校生活に満足している状況を嬉しく思います。 「行きたくなる学校」の要件には、次のことが挙げられます。 ①仲の良い友達がいる。 ②自分を生かせる活動の場がある。 ③楽しくわかる授業がある。 ④信頼できる好きな先生がいる。 このことを踏まえると、「笑顔のある学校」づくりを目標とするなら、「行きたくなる学校」の要件を念頭に置くことが肝要ではないかと考えます。学校は生徒のためにあります。 これからも、生徒理解、特別活動の充実、授業改善、教師の総合的な人間力をめざしてほしいと願っています。</p>	A
教科指導	<p>授業評価考察からは、先生方の学習指導に対する真摯な姿勢を読み取ることができ、大変心強く思いました。 生徒も先生方の熱心な指導を認めており、生徒と教師の良好な人間関係を伺うことができます。しかしながら、授業内容の理解については課題が残るようです。 今後は、わかる授業の構想に向けて、教員間で「学習意欲を喚起する授業展開」が話題にのぼるようになると思います。 本時で何を学習するのか、何がわかるように（できるように）なればいいのか、授業のねらいを明確にする導入の在り方など、全教員で課題を共有して研修を推進してほしいです。</p>	B
生徒指導	<p>生徒指導の基本は、すべての教員が日々の授業を通して行うものだと考えています。授業の中で、生徒の心身の状況に応じた適切な声掛けや、マナー指導、学習状況の把握などを積み重ねることで、生徒と教師の信頼関係が築かれ、規範意識の高揚にも繋がっていきます。 生徒は教師の言葉に敏感です。自分が認められていることを実感する時、何よりも喜びを感じるものです。具体的な行動や活動に対して、温かい誉め言葉を掛けられるように、生徒一人ひとりをしっかり見守っていきたいものです。</p>	B
進路指導	<p>組織的な進路指導体制が確立していることは、大変望ましいことです。 しかし、将来への夢は生徒一人ひとり皆違っています。なかには自己理解ができていない生徒や夢をもてない生徒もいると思います。 学校運営の評価項目17,18からは、個に応じた進路指導はどうあるべきか、先生方のご苦労が伺えます。進路指導は生徒指導とも密接な関係があります。保護者・生徒・教師三者の意思疎通や情報提供に努める必要があります。 これからも3年間を見通した個に応じた生き方指導を推進し、生徒が自己肯定感をもち、自分の将来像を描けるよう、先生方のご尽力に期待しています。</p>	B
特別活動	<p>生徒は自分を生かせる活動の場があることが喜びであり、活動を通して成長していきます。ほとんどの生徒は学校行事に楽しく参加していますが、約2割の生徒は満足していないようです。このような生徒は、学級生活での係活動にも消極的な場合が多いものです。日々の学級生活の中で自分の役割があり、クラスのため、みんなのために役立っているという有用感や喜びを味わわせることが必要だと思います。伝統ある学校行事を大切にしながら、日々の学級活動にも目を向けることが大切です。 部活動や同好会活動は活力ある学校づくりの一翼を担っており、保護者からも高い評価を得ていることは嬉しいことです。</p>	A
その他	<p>「笑顔のある学校」づくりの具現化のためには、まず先生方にとって「行きたい学校、行きたい職員室」であることが大前提です。 学校運営の評価項目7, 8から感じるのですが、もっと教員間で学校や生徒の抱える課題について意見交換をしてほしいと思いました。望ましい職場の風土は、教職員一人ひとりの仕事に対する使命感と他への優しさによって醸成されていきます。笑顔と会話のある活気溢れる職員室でありたいものです。 昨年よりも今年、今年よりも来年、よりよい学校づくりに向けての先生方の努力は、必ず生徒へ還元されていくと信じています。</p>	B
評価	十分:A 、 おおむね十分:B 、 やや不十分:C 、 不十分:D	

学校関係者評価委員 氏名(益本洋子)

評価領域	平成29年度学校関係者評価委員会の意見	評価
高校生活 全般	アンケート欄の C.D.E の評価内容について全職員がどの様に受け止めているか? 30年度に改善すべきところを話し合っ共有することができるか	B
教科指導	教科指導評価については先生方の努力が伺える 一回より二回目の評価が良くなっていることは素晴らしい	B
生徒指導	アンケート結果を十分に生かして全職員が共有して指導に当たっていただきたい	B
進路指導	アンケート結果を十分に生かして全職員が共有して指導に当たっていただきたい	B
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しく調理課新設に大いに期待しているが着衣・包丁など多額の経費がかかり過ぎという声を耳にしました 1学期の初めが大切ということは分かっていますが、すぐ使用しないものは2・3学期に分けて購入すると言うことは考えられないだろうか検討の余地はあると思う 	B
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学生に校歌を覚えさせてほしい、食事時間に放送を流し、自然に卒業時には歌えるように指導してほしい、校歌が流れても歌える生徒がいない、心が痛んだ ● 卒業式に呼名をされても返事をしない[日本一笑顔のある学校]とスローガンはあるが活気のない学校に見えた ● 線路側に学園全体案内板を出すと思う 	B

評価 十分:A 、 おおむね十分:B 、 やや不十分:C 、 不十分:D